

2026年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2026年7月10日

上場会社名 株式会社ジンスホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 3046 URL https://jinsholdings.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長COO (氏名) 田中 亮  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員IR室長 (氏名) 中谷 元明 (TEL) 03-6890-4800  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年8月期第3四半期の連結業績(2025年9月1日~2026年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期第3四半期	80,730	15.6	8,996	1.2	9,014	1.4	6,241	△0.7
2025年8月期第3四半期	69,815	18.0	8,892	75.7	8,893	73.9	6,285	98.0

(注) 包括利益 2026年8月期第3四半期 6,434百万円( 7.3%) 2025年8月期第3四半期 5,997百万円( 89.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年8月期第3四半期	267.37	—
2025年8月期第3四半期	269.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年8月期第3四半期	67,970	35,696	52.5
2025年8月期	57,866	31,742	54.9

(参考) 自己資本 2026年8月期第3四半期 35,696百万円 2025年8月期 31,742百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年8月期	—	50.00	—	59.00	109.00
2026年8月期	—	47.00	—		
2026年8月期(予想)				68.00	115.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年8月期の連結業績予想(2025年9月1日~2026年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,392	13.6	12,772	5.6	12,679	4.6	8,623	3.5	369.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年8月期3Q	23,980,000株	2025年8月期	23,980,000株
② 期末自己株式数	2026年8月期3Q	631,819株	2025年8月期	638,379株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年8月期3Q	23,345,610株	2025年8月期3Q	23,340,875株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定にあたり控除する自己株式数には、「株式給付信託（J-ESOP）」の信託財産として株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が保有する当社株式を含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2025年9月1日～2026年5月31日)における国内経済については、国内景気が、緩やかな回復傾向にあるものの、中東情勢の影響を注視する必要があります。一方で、依然として、インフレによる個人消費への影響は大きく、消費者マインドの下振れリスクには留意すべき状況が続いています。

世界経済については、中東危機の深刻化を受けて、エネルギーの中東依存度が高い国・地域を中心に通貨安進行しており、各国経済への影響が懸念されております。今後の世界への影響は、依然として不透明な状況が継続する見通しです。世界的なインフレと各国の政策金利の引き上げによる家計と企業の金利負担の増加は、各国の内需に大きな影響を与え始めています。生活必需品や本質的価値を伴う商品への選別がより鮮明になっております。

このような市場環境の中、当社グループのアイウェア事業では、経営課題として掲げているイノベティブなプロダクト開発の強化及び店舗展開を継続的に推進しています。

商品開発につきましては、お客様のニーズや利用シーンに応じて、機能性とファッション性を両立する商品開発をグローバルな視点で取り組んでおります。企画・生産・販売を一貫して自社で行うSPAモデルをさらに深化させております。

店舗戦略につきましては、市場環境に応じてお客様の利便性を考慮した立地への出店を推進し、国内では、ショッピングモールや駅ビル、ロードサイド店舗への出店をお客様と地域の特性に合わせ展開しております。インバウンド需要へ対応する「最短30分での商品の受け渡し」や「AIを活用したレンズ診断」など、新しい顧客体験の創造を実現しております。

また、初のグローバル旗艦店としてオープンしました「JINS銀座店」、約1,000㎡の広さに最大の商品ラインナップを取り揃える「JINS新宿店」につきましては、当初の計画を上回る結果となっております。これら大型旗艦店の立ち上げにつきましては、戦略的な先行投資を実施しておりますが、今後とも、投資と収益性の確保を両立させ、中長期的な持続的成長に向けて邁進してまいります。

海外では、日本の店舗モデルをベースに、地域ごとの市場環境や競合状況に合わせた店舗づくりを進めました。当社は原則として、自社の子会社を通じた直営運営を行うこととしており、外部環境の変化に対しても機動的なコントロールと財務健全性を維持しております。これらを基盤とした的確な店舗・システム投資を実施し、アイウェアを通じた新しい価値の創出をグローバルで展開しています。

今後とも、店舗でのオペレーション強化に加え、市場環境を踏まえた出店戦略の実行、新規国への展開を行い、各国各地域でスピード感ある成長が出来るよう取り組んでまいります。

店舗展開につきましては、当第3四半期連結会計期間末における店舗数は、国内581店舗、海外268店舗(中国155店舗、台湾96店舗、香港11店舗、米国6店舗)の合計849店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は、主に国内アイウェア事業の既存店売上高の増加により80,730百万円(前年同期比15.6%増)となりました。営業利益は8,996百万円(前年同期比1.2%増)、経常利益は9,014百万円(前年同期比1.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6,241百万円(前年同期比0.7%減)となりました。

セグメント業績の概要は、次のとおりであります。

セグメント別の売上高

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)	構成比	前年同期比増減
国内アイウェア事業	61,322百万円	76.0%	13.0%
海外アイウェア事業	19,407百万円	24.0%	24.9%
合計	80,730百万円	100.0%	15.6%

## 〈国内アイウェア事業〉

国内アイウェア事業につきましては、出店が加速する中、継続的な販促キャンペーン活動により、レンズ・フレームともに高単価商品が好調だったことに加え、一式単価が伸長したことにより売上を牽引し、業績は引き続き順調に推移しております。

店舗展開につきましては、国内店舗数は581店舗（出店44店舗、退店3店舗）となりました。

以上の結果、国内アイウェア事業の業績は、売上高61,322百万円（前年同期比13.0%増）、営業利益6,960百万円（前年同期比13.6%減）となりました。

## 〈海外アイウェア事業〉

海外アイウェア事業につきましては、中国においては、事業構造改革の取り組みが進んでおり、業績は堅調に推移しております。

台湾においては、業績が順調に推移する中、更なる出店を加速させております。

香港においては、引き続き足元の構造改革を進めてまいります。

米国においては、新規店舗が好調であり、業績が堅調に推移しております。

店舗展開につきましては、中国155店舗（出店9店舗、退店10店舗）、台湾96店舗（出店18店舗、退店なし）、香港11店舗（出店1店舗、退店なし）、米国6店舗（出店1店舗、退店なし）の合計268店舗となりました。

以上の結果、海外アイウェア事業の業績は、売上高19,407百万円（前年同期比24.9%増）、営業利益2,035百万円（前年同期比143.8%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	2025年8月期末 (2025年8月31日)	当第3四半期連結 会計期間末 (2026年5月31日)	増減	増減率(%)
総資産	57,866	67,970	10,103	17.5
負債	26,124	32,273	6,149	23.5
純資産	31,742	35,696	3,954	12.5

## (イ)資産

流動資産は、30,431百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,780百万円増加いたしました。

これは主に、現金及び預金が1,652百万円減少したものの、売掛金が1,337百万円、商品及び製品が1,345百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、37,538百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,322百万円増加いたしました。

これは主に、新規出店等に伴い、建物及び構築物等の有形固定資産が3,428百万円増加したこと、ソフトウェア等の無形固定資産が3,843百万円増加したことによるものであります。

以上により、総資産は、67,970百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,103百万円増加いたしました。

## (ロ)負債

流動負債は、24,088百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,370百万円増加いたしました。

これは主に、納税により未払法人税等が1,464百万円減少したものの、短期借入金が2,307百万円、買掛金が716百万円、未払金及び未払費用が723百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、8,185百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,778百万円増加いたしました。

これは主に、その他に含まれる長期未払金が3,582百万円増加したことによるものであります。

以上により、負債合計は、32,273百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,149百万円増加いたしました。

## (ハ)純資産

純資産合計は、35,696百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,954百万円増加いたしました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益6,241百万円を計上したものの、配当金の支払いにより2,505百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年8月期通期の業績予想につきましては、2026年4月10日に発表いたしました業績予想から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,977	10,324
売掛金	7,968	9,305
商品及び製品	5,838	7,184
仕掛品	31	101
原材料及び貯蔵品	495	434
その他	2,339	3,080
流動資産合計	28,650	30,431
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,796	13,973
その他(純額)	1,934	2,186
有形固定資産合計	12,731	16,159
無形固定資産		
ソフトウェア	2,415	8,435
ソフトウェア仮勘定	3,261	1,086
その他	0	—
無形固定資産合計	5,677	9,521
投資その他の資産		
敷金及び保証金	5,913	6,545
その他	4,894	5,311
投資その他の資産合計	10,807	11,857
固定資産合計	29,216	37,538
資産合計	57,866	67,970

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,178	3,894
短期借入金	5,449	7,756
1年内返済予定の長期借入金	10	9
未払金及び未払費用	7,905	8,628
未払法人税等	2,393	929
賞与引当金	302	430
商品保証引当金	322	328
事業構造改革費用引当金	43	21
その他	2,111	2,090
流動負債合計	21,717	24,088
固定負債		
長期借入金	14	9
株式給付引当金	153	114
資産除去債務	1,321	1,413
その他の引当金	233	321
その他	2,683	6,325
固定負債合計	4,406	8,185
負債合計	26,124	32,273
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,202	3,202
資本剰余金	3,201	3,201
利益剰余金	28,996	32,733
自己株式	△4,033	△4,008
株主資本合計	31,367	35,128
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	66	53
為替換算調整勘定	308	515
その他の包括利益累計額合計	375	568
純資産合計	31,742	35,696
負債純資産合計	57,866	67,970

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2024年9月1日 至2025年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2025年9月1日 至2026年5月31日)
売上高	69,815	80,730
売上原価	14,977	16,976
売上総利益	54,837	63,753
販売費及び一般管理費	45,945	54,756
営業利益	8,892	8,996
営業外収益		
受取利息	15	12
為替差益	50	143
補助金収入	32	3
その他	34	73
営業外収益合計	133	233
営業外費用		
支払利息	113	149
和解金	—	41
その他	18	25
営業外費用合計	132	215
経常利益	8,893	9,014
特別利益		
投資有価証券売却益	442	—
特別利益合計	442	—
特別損失		
固定資産除却損	207	239
店舗閉鎖損失	6	24
減損損失	11	93
特別損失合計	224	357
税金等調整前四半期純利益	9,111	8,657
法人税、住民税及び事業税	2,779	2,274
法人税等調整額	46	140
法人税等合計	2,826	2,415
四半期純利益	6,285	6,241
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,285	6,241

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
四半期純利益	6,285	6,241
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	△13
為替換算調整勘定	△281	206
その他の包括利益合計	△287	193
四半期包括利益	5,997	6,434
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,997	6,434
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I. 前第3四半期連結累計期間(自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	国内 アイウェア 事業	海外 アイウェア 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生 じる収益	54,276	15,538	69,815	—	69,815
外部顧客への売上高	54,276	15,538	69,815	—	69,815
セグメント間の内部 売上高又は振替高	909	74	983	△983	—
計	55,186	15,613	70,799	△983	69,815
セグメント利益	8,057	835	8,892	—	8,892

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II. 当第3四半期連結累計期間(自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	国内 アイウェア 事業	海外 アイウェア 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生 じる収益	61,322	19,407	80,730	—	80,730
外部顧客への売上高	61,322	19,407	80,730	—	80,730
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,172	70	1,243	△1,243	—
計	62,495	19,477	81,973	△1,243	80,730
セグメント利益	6,960	2,035	8,996	—	8,996

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内アイウェア事業」セグメントにおいて、減損損失93百万円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
減価償却費	2,159百万円	2,804百万円